

消 防 年 報

令和7年版



永平寺町消防本部

令和7年度 消防本部マネジメント方針

【基本方針】

町民一人ひとりが、「安心」と「安全」を実感しながら生活できるよう、消防団や自主防災組織、町民と協働しながら「災害に強い、安全、安心なまちづくり」を進めます。

【重点施策】

- I 人材育成の強化
- II 消防車両等を活用した消防活動の向上
- III 住宅火災防止の徹底
- IV 防火対象物の消防法令違反の徹底
- V 地域防災力向上の取組み

まえがき

この年報は、永平寺町消防本部における令和7年4月1日現在の消防現勢及び消防業務全般を収録したものであり、将来の消防施策の参考に資するとともに広く一般に紹介し、消防に対する理解を深めていただくものです。

なお、この年報の統計は暦年をもって作成してありますが、予算関係については会計年度で表し、これらによらないものについては当該表に調査年月日を記載してあります。

今後とも、尚一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月

永平寺町消防本部

消 防 年 報

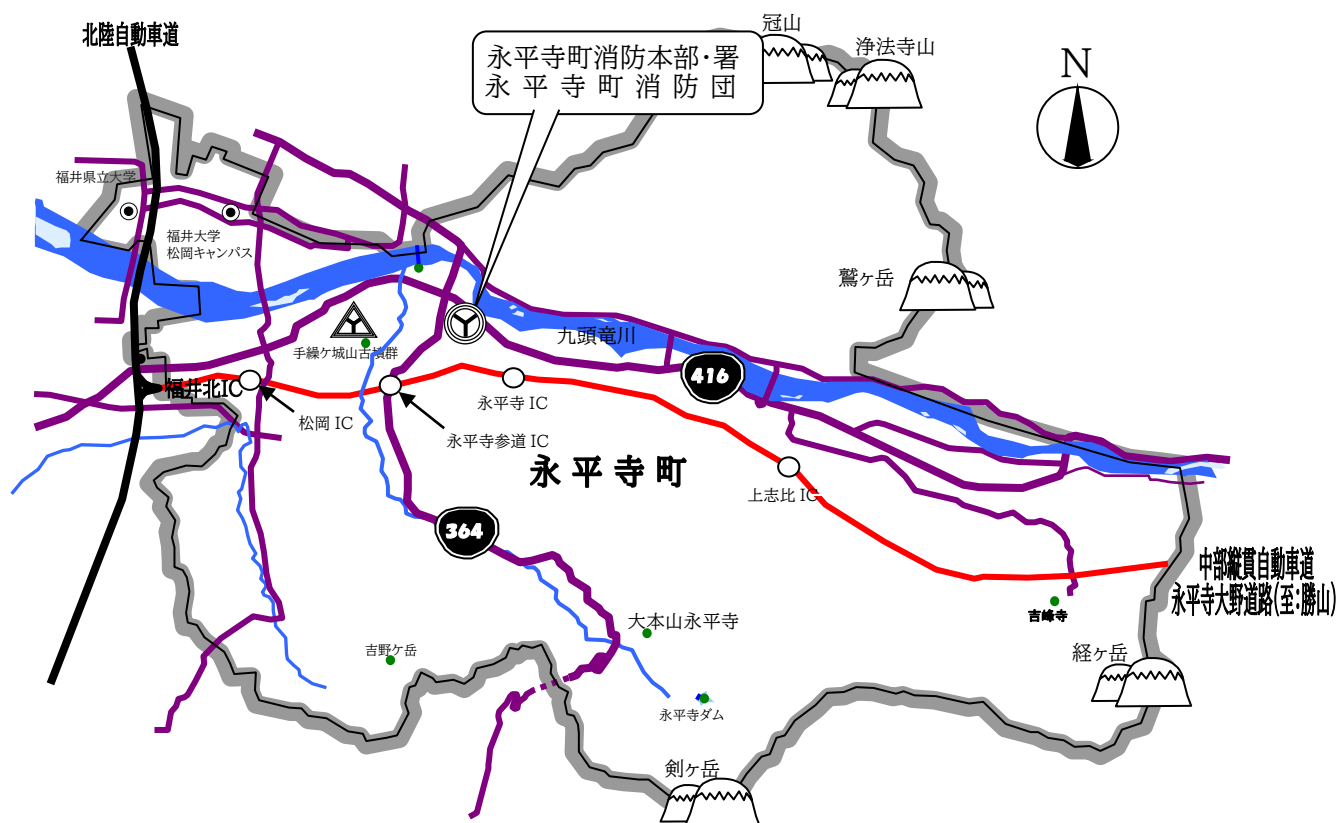
(令和7年版)

◆ あらまし・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ～ 12
◆ 総 務 編・・・・・・・・・・・・・・・・	13 ～ 20
◆ 予 防 編・・・・・・・・・・・・・・・・	21 ～ 27
◆ 警 防 編・・・・・・・・・・・・・・・・	28 ～ 33
◆ 関係団体・・・・・・・・・・・・・・・・	34 ～ 39

◆ あ ら ま し

永平寺町消防本部管内図・・・・・・・・・・・・・・・・	1
位置地勢沿革等・・・・・・・・・・・・・・・・	2
消防のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・	3～12

永平寺町消防本部管内図



消防庁舎の概要

署 々 別	所 在 地	構 造	面 積
消防本部・署	福井県吉田郡 永平寺町東古市10-5	RC造 地上6階 (3～6階 訓練塔)	1,998.33 m ²

永平寺町(令和7年4月1日現在)

人 口	世 帯 数	面 積
17,543 人	6,645世帯	94.43km ²

位置地勢沿革等

永平寺町消防本部が位置する永平寺町は、東経136度18分、北緯36度5分と福井県嶺北地方のほぼ中央にあり、東西約15.5km、南北約10.5km、総面積94.43km²の、福井平野を流れる県下最大の河川、九頭竜川の中流域の流れに沿って開けた町で、南と西は県都福井市に、東は白山連峰を配した勝山市に、北は坂井市に接した、清流を挟み南北を山々に囲まれた水と緑の豊かな所です。

町内を、九頭竜川に平行して東西に国道416号線とえちぜん鉄道が、南北には大本山永平寺に至る国道364号線が走り、西部を南北に走る北陸自動車道の福井北インターに近く、また、同インターから長野県松本市に至る中部縦貫自動車道は、2029年春に全線開通を予定しております。

九頭竜川が形成した扇状地では、恵まれた自然環境の中、古くから人類が生活していたことがうかがえる石器や住居跡が発掘されています。古墳時代には、丘陵地を利用して多くの古墳が造られ、手繰ヶ城山古墳や二本松山古墳など北陸最大級の前方後円墳は、国指定の史跡となっています。

年間を通して全国から多くの観光客が訪れる古刹曹洞宗大本山永平寺は鎌倉時代道元禅師が、町内の吉峰寺に続いて開いた修行道場として、その伽藍を今に残しています。

徳川家康の曾孫、松平昌勝公が初代藩主となった松岡藩の天竜寺には、俳人松尾芭蕉が奥の細道の帰途に訪れ、そのときの句碑が芭蕉塚として残されています。変遷を経、近年では福井大学医学部附属病院や福井県立大学、県理美容専門学校等の教育施設が町西部に建設され、歴史と教育文化の香り高い町を形成しています。



平成18年2月13日、同じような歴史文化をもつ旧松岡町、旧永平寺町、旧上志比村の2町1村が合併、「新永平寺町」として生まれ変わりました。消防も新町の下、組織そのものは旧吉田地区消防組合消防本部と変わりませんが、名称を「永平寺町消防本部」として再出発し、今年で20年目を迎えます。

平成28年4月1日からは、拠点を管内中心部の東古市に置き、高機能消防指令センターと消防救急デジタル無線システムを整備した新消防庁舎で、組織を1本部・1署の一極集中体制を図っております。

永平寺町消防本部のあゆみ

松岡町	昭和26年4月1日職員3名にて団機関常備部設立 昭和44年4月1日職員6名にて消防署設立
永平寺町	非常備体制
上志比村	非常備体制
昭和45年	10月、松岡町、永平寺町、上志比村の2町1村による消防一部事務組合・吉田地区消防組合を設立(政令指定昭和45年4月) 総員9名(定数33名)、団員221名(定数240名)
昭和46年	職員1名退職、職員17名採用 総員25名 救急業務開始(2B型救急車2台 整備) 本部庁舎増築、永平寺分遣所開設、上志比分遣所庁舎新築 消防ポンプ車1台(永平寺消防団 第1分団) 小型ポンプ5台 (松岡消防団 第4分団:上合月/領家/渡新田/下合月/兼定島) 吉田地区危険物安全協会設立 ○松岡芝原地区火災(5月、死者1名) ○松岡志比堺地区火災(6月、死者1名)
昭和47年	職員6名採用 総員31名 団員定数条例改正 245名 上志比分遣所開設、永平寺分遣所庁舎新築 化学車1台、消防ポンプ車1台(吉田4号車) 積載車2台(松岡消防団 第1分団/第2分団)、小型ポンプ自動車1台 広報指揮車1台、査察車1台 寄贈:福井・吉田ライオンズクラブ 消防無線陸上移動局4基 整備
昭和48年	職員1名退職、職員2名採用 総員32名 消防ポンプ車1台、小型ポンプ1台(永平寺消防団 第3分団)
昭和49年	職員1名採用 総員33名 小型ポンプ3台(永平寺消防団 第4分団)
昭和50年	職員2名退職、職員2名採用 総員33名 職員定数条例改正 34名 消防ポンプ車1台(吉田3号車)、消防無線基地局1基 整備 北陸高速自動車国道消防相互応援協定締結 ○轟地区火災(7月、織布工場・住宅)
昭和51年	消防ポンプ車2台(松岡消防団 第3分団)、 小型ポンプ2台(永平寺消防団 第2分団/第4分団) 積載車2台(上志比消防団 第3分団・松岡消防団 第3分団) 救急車3B型1台 寄贈:日本損害保険協会 ○松岡志比堺地区火災(2月、織布工場)

昭和 52 年	○花谷地区火災(5月、死者1名) 職員1名採用 総員34名 消防ポンプ車1台(吉田1号車)、小型ポンプ1台(松岡消防団 第4分団)積載車1台(松岡消防団 第5分団) 永平寺婦人消防隊結成
昭和 53 年	消防ポンプ車1台(上志比消防団 第1分団) 小型ポンプ2台(永平寺消防団 第3分団・松岡消防団 第1分団) 積載車1台(永平寺消防団 第2分団) 消防無線陸上移動局2基、 ○松岡志比堺地区火災(11月、死者1名)
昭和 54 年	職員1名退職、職員3名採用 総員36名 職員定数条例改正 36名 消防無線陸上移動局2基 整備
昭和 55 年	消防組合創立 10 周年記念式典 永平寺本山二祖国師 700 回大遠忌(4月～9月門前出張所開設) 救急車2B型1台 寄贈:日本損害保険協会 小型ポンプ2台(永平寺消防団 第3分団・松岡消防団 第5分団) 積載車1台(永平寺消防団 第3分団) ○松岡春日地区火災(12月、死者1名)
昭和 56 年	職員1名退職、職員2名採用 総員37名 職員定数条例改正 37名 消防ポンプ車1台、消防無線陸上移動局1基 ○谷口地区火災(1月、織物工場・住宅) ○浅見地区火災(1月、死者3名) ○松岡志比堺地区火災(12月、死者3名)
昭和 57 年	救急車2B型1台 寄贈:日本損害保険協会 消防無線陸上移動局3基 吉田地区連合少年消防クラブ・吉田地区連合幼年消防クラブ・松岡地区婦人防火クラブ結成
昭和 58 年	消防ポンプ車1台(松岡消防団 第4分団) 指令車1台 寄贈:日本消防協会 小型ポンプ1台(松岡消防団 第3分団) 消防無線陸上移動局4基
昭和 59 年	職員1名退職、職員2名採用 総員38名 職員定数条例改正 38名 消防本部庁舎新築工事落成鉄筋コンクリート3階建(延べ面積 1,237.68m²) 消防用通信指令装置コンソールデスク型一式 整備 消防無線基地局1基 更新(永平寺分遣所) 永平寺町婦人防火クラブ結成
昭和 60 年	職員1名退職、職員1名採用 総員38名

	救急車2B型1台 寄贈:日本自動車工業会 上志比村婦人防火クラブ結成
昭和 61 年	職員1名退職 総員37名 吉野地区婦人防火クラブ、御陵地区婦人防火クラブ結成 ○松岡室地区火災(8月、サイジング工場)
昭和 62 年	消防ポンプ車1台、積載車1台 更新(永平寺消防団 第3分団) 消防ポンプ車1台 寄贈(吉田4号車):日本損害保協会 防火広報車1台 寄贈:日本防火協会 県防災行政無線 整備 全国婦人消防操法大会 永平寺婦人消防隊 出場:神奈川県
昭和 63 年	小型ポンプ3台 更新 (永平寺消防団 第3分団 2台・永平寺消防団 第4分団 1台) 積載車1台 寄贈(永平寺消防団 第2分団):日本消防協会 消防無線陸上移動局1基 整備 吉田地区連合婦人防火クラブ優良表彰(日本防火協会) 永平寺婦人消防隊 第2分隊結成 福井県市町村消防相互応援協定締結(平成8年6月廃止) ○松岡志比堺地区火災(5月、住宅)
平成元年	職員2名退職、職員2名採用 総員37名 職員定数条例改正 39名 積載車1台 整備(上志比消防団 第1分団) 積載車1台 寄贈(上志比消防団 第3分団):日本消防協会 消防無線陸上移動局 1 基 整備 永平寺町婦人防火クラブ優良表彰(日本防火協会)
平成2年	職員1名退職、職員1名採用 総員37名 消防ポンプ車2台 更新(吉田3号車・永平寺消防団 第2分団) 救急車2B型1台 更新(寄贈):安田生命保険相互会社 消防組合創立 20 周年記念式典
平成3年	職員3名退職、職員1名採用 職員1名派遣(福井県消防学校教官 6ヶ月間) 総員34名 消防本部・署課制実施 消防ポンプ車2台 更新(永平寺消防団 第1分団) 積載車4台 更新 (永平寺消防団 第3分団/第4分団・松岡消防団第1分団/第2分団) 小型ポンプ3台 更新 (永平寺消防団 第3分団・松岡消防団 第1分団/第2分団) 指令車1台 更新、連絡車2台 更新(上志比分署・永平寺分署)
平成4年	職員2名退職、職員4名採用 総員37名 水槽付ポンプ車1台 更新(吉田2号車)



平成5年	ポンプ車2台 更新(上志比消防団 第2分団・松岡消防団 特設分団) 職員1名退職、職員2名採用 総員38名 職員定数条例改正 41名 分遣所を分署に昇格 救助工作車1台 整備 消防ポンプ車1台(永平寺消防団 第4分団) 積載車1台(松岡消防団 第5分団) 小型ポンプ1台(永平寺消防団 第2分団)	
平成6年	職員3名採用 総員41名 職員定数条例改正 43名 女性消防団員登用 団員定数条例改正 278名 消防ポンプ車1台 更新(松岡消防団 第3分団) 積載車1台 更新(永平寺消防団 第3分団/第4分団) ○松岡葵地区火災(5月、住宅)	
平成7年	消防署救助隊発足 救急車1台 寄贈:財団法人福井県農協共済福祉事業団 積載車1台 更新(永平寺消防団 第3分団) 小型ポンプ2台 更新(永平寺消防団 第3分団) 消防無線陸上移動局1基 整備 阪神淡路大震災救助隊応援出場	
平成8年	職員2名退職、職員3名採用 総員42名 指揮車1台 整備、査察広報車1台 寄贈:福井・吉田ライオンズクラブ 消防無線陸上移動局2基 整備 吉田地区防火協会設立 福井県市町村消防相互応援協定締結	
平成9年	職員2名退職 総員40名 軽積載車1台 寄贈(上志比女性消防団):日本消防協会 高規格救急車1台 整備 県防災行政無線 更新、消防無線基地局・陸上移動局1基 整備 福井県防災ヘリコプター応援協定締結 ○藤巻地区火災(9月、死者1名)	
平成10年	消防ポンプ車2台 更新(上志比消防団 第1分団/第2分団) 広報車1台 寄贈:日本消防協会 御陵地区コミュニティ消防センター新築落成 集団災害救急救助事故応援協定締結 嶺北ブロック携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結	
平成11年	職員1名退職、職員4名採用 総員43名 吉野地区コミュニティ消防センター新築落成	

	消防ポンプ車1台 寄贈(吉田1号車):日本損害保険協会 松岡消防団 特設分団 福井県消防操法大会(ポンプ車の部)優勝 ○松岡志比堺地区火災(5月、死者1名) ○松岡志比堺地区火災(12月、死者1名)
平成 12 年	職員1名派遣(福井県消防学校教育職員 1年間)総員42名 救急資機材(患者監視装置)整備 消防組合創立 30 周年記念式典・3町村合同総合防災訓練
平成 13 年	職員1名退職、職員3名採用 職員1名派遣(福井県防災航空隊 3年間) 総員44名 職員定数条例改正44名(消防吏員43名・吏員以外の職員 1 名) 災害救援車 整備、小型ポンプ 1 台 更新(上志比消防団 第2分団)
平成 14 年	職員1名退職 総員43名 職員定数条例改正45名(消防吏員44名・吏員以外の職員 1 名) 大本山永平寺開祖道元禅師 750 回大遠忌警備(3月~10月)
平成 15 年	職員2名退職、職員2名採用 総員43名 松岡消防団(財)日本消防協会特別表彰「まとい」受賞 上志比消防団 第3分団 福井県消防操法大会(ポンプ車の部)優勝 第 32 回 全国消防救助技術大会出場(ロープ応用登はんの部):宮城県 情報通信ネットワーク 整備
平成 16 年	3部制施行 防災広報車 1 台 寄贈:日本消防協会 福井豪雨応援出場
平成 17 年	職員 1 名退職 総員43名 高規格救急車 1 台 整備 松岡消防団 第4分団 福井県消防操法大会(ポンプ車の部)優勝 携帯電話119直接受信システム 整備
平成 18 年	吉田地区消防組合解散式



平成 18 年	職員 1 名退職 総員42名 2月13日、永平寺町消防本部・消防団開設式 松岡町、永平寺町、上志比村の2町1村の合併により、永平寺町消防本部を設立、永平寺町消防団を結団(定数278名) 永平寺町消防団 第1分団 福井県消防操法大会(ポンプ車の部)優勝 第20回 全国消防操法大会出場(ポンプ車の部):兵庫県 エアーテント1基 整備 永平寺町防火協会 設立 ○志比地区火災(死者1名)	
平成 19 年	職員2名退職、事務職員1名配属 総員41名 消防署水難救助隊発足 能登半島地震 緊急消防援助隊(救急隊派遣) 永平寺町消防団 消防庁長官表彰消防団地域活動表彰受賞 住宅用火災警報器補助事業開始 学校等20施設にAEDを配備 福井大学と集団災害救急救助事故応援協定を締結 資材運搬車 整備(永平寺3号車)、フロアマット 整備	
平成 20 年	職員3名退職、職員2名採用 総員40名 消防団組織改正10分団 団員定数条例改正 260名 消防団協力事業所に3事業所認定 福祉施設等5施設にAED配備 住宅用火災警報器の設置義務化 火災現場用資機材 更新(防火衣40着) 消防団松岡西部消防施設新築(第8分団) 非常備消防ポンプ車 更新(第9分団) 消防団分団旗 整備	
平成 21 年	職員2名退職 総員37名 機能別団員(大学生防災サポーター)任用 福祉施設等12施設にAED配備 町内全地区に自主防災組織が設置完了 消防団協力事業所に2事業所認定	
平成 22 年	職員1名退職、事務職員1名配属 職員1名派遣(福井県防災航空隊 3年間) 総員36名 団員定数条例改正 315名 機能別団員(重機オペレーター)任用 住宅用火災警報器設置率90%達成 女性分団を新設 東日本大震災 緊急消防援助隊(ポンプ隊派遣) (全国消防長会より表彰を受ける) 水槽付ポンプ車1台 更新(永平寺2号車) 高規格救急車1台 更新(救急3号車)	

	多機能型消防自動車1台 寄贈(第9分団):日本消防協会 船外機付ゴムボート1艇 整備    
平成 23 年	総員36名 指揮車1台 寄贈:日本消防協会 永平寺町消防団 第3分団 福井県消防操法大会(小型ポンプの部)優勝 消防団松岡東部消防施設新築(第6分団) 
平成 24 年	職員2名採用 総員38名 永平寺分署廃止 統廃合 1本部・署、1分署体制となる。 消防団協力事業所表示証が消防庁長官より交付(椋山建設株式会社) 永平寺町消防団 第7分団 福井県消防操法大会(ポンプ車の部)準優勝 第41回 全国消防救助技術大会出場(はしご登はんの部):東京都 消防団永平寺北地区消防施設新築(第3分団) 非常備消防ポンプ車 更新(第3分団)
平成 25 年	職員4名退職、職員2名採用 総員36名 永平寺町消防団 第10分団 福井県消防操法大会(小型ポンプの部)優勝 消防団永平寺中地区消防施設新築(第4分団) 非常備消防ポンプ車 更新(第4分団) 新庁舎・指令センター・デジタル無線実施設計 町内全域8ブロックに、自主防災組織連絡協議会設立完了 永平寺町と福井大学の包括的連携協定に伴う 「地の拠点整備事業救急講習会」実施   
平成 26 年	職員2名退職、職員3名採用 総員37名 新消防庁舎建設事業及び消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター 統合整備事業着工 中部縦貫自動車道福井北IC～松岡IC 開通に伴う 総合応援協定防災訓練実施 消防団協力事業所に1事業所認定 機能別団員(火災対応)任用 分団名の改変  

平成 27 年	職員3名退職、職員3名採用、職員1名出向(役場:総務課生活安全室) 職員1名派遣(福井県消防学校教育職員 3年間) 総員40名 非常備救助資機材搭載積載車1台及び小型ポンプ1台 更新(上志比東分団) 非常備消防ポンプ車1台 無償貸付(松岡西分団):総務省消防庁 平成28年3月7日庁舎移転仮運用 平成28年3月26日庁舎落成式 消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター開設式
平成 28 年	職員3名退職、職員2名採用、職員2名出向(役場:総務課生活安全室) 総員38名 非常備消防ポンプ車1台 更新(吉野分団) 本部車両 資機材搬送車 整備
平成 29 年	職員3名退職、職員2名採用、職員1名出向(役場:総務課生活安全室) 総員38名 非常備消防ポンプ車1台 更新(松岡中分団) 本部車両 水槽付消防ポンプ車1台 更新(永平寺1) 松岡中分団 旧消防ポンプ車(BD-1)をペルーへ寄贈
平成 30 年	職員1名採用(初の女性消防吏員採用) 職員1名出向(役場:総務課生活安全室) 総員39名 永平寺町消防団志比中分団 福井県消防操法大会(ポンプ車の部)準優勝 非常備消防ポンプ車1台 更新(志比南分団) 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・福井県総合防災訓練 実施場所:サテライト会場(永平寺河川公園) 消防団防災学習・災害活動車両 1台 寄贈:公益財団法人日本消防協会 消防団協力事業所に1事業所認定

元号改正	平成31年5月1日より元号を「平成」から「令和」へ改元
令和元年	職員1名死亡退職、職員1名出向(役場:総務課生活安全室) 職員1名派遣(福井県防災航空隊 3年間) 総員38名 第48回 全国消防救助技術大会出場(はしご登はんの部):岡山県 第24回 全国女性消防操法大会 永平寺町消防団女性分団出場:神奈川県 非常備消防ポンプ車1台 無償貸付(松岡東分団):総務省消防庁 本部車両 救助工作車1台 更新(永平寺救助1) ○松岡石舟地区火災(6月、工場、死者4名) 消防団協力事業所に1事業所認定 
令和2年	職員5名退職、職員3名採用 職員1名出向(役場:総務課生活安全室) 職員1名派遣(福井県防災航空隊 3年間) 総員36名 新型コロナウイルス感染拡大対応 救急隊分散配置勤務実施 外国人等対応システム(多言語同時通訳)運用開始 NET119緊急通報システム運用開始 機能別団員(まちの減災ナース)任用
令和3年	職員3名採用 職員1名出向(役場:防災安全課) 総員39名 消防団上志比地区消防施設新築(上志比東・上志比西分団) 非常備消防ポンプ車1台 無償貸付(上志比西分団):総務省消防庁 機能別団員(大規模災害時活動支援員)任用 団員定数条例改正 412名  
令和4年	職員1名退職、職員1名採用 職員1名出向(役場:防災安全課) 総員39名 高規格救急車 1台 更新(救急1) 非常備消防 無償貸付 軽デッキバン更新(吉野分団) 消防団防災学習・災害活動車両 1台 寄贈 公益財団法人日本消防協会 

令和5年	職員1名退職、職員1名採用 職員1名出向(役場:防災安全課) 職員1名派遣(福井県安全環境部危機対策・防災課)総員39名 第51回 全国消防救助技術大会出場(ロープ応用登はんの部):北海道 高規格救急車 1台 更新(救急3) 非常備消防 無償貸付 救助資機材・小型ポンプ搭載積載車 1台(志比南分団) 能登半島地震の発生に伴い、緊急消防援助隊として救急隊を派遣 (一次隊から三次隊) 令和6年能登半島地震における広域応援協定書に基づき、 一次隊(救急隊)、二次隊(ポンプ隊)を派遣 
令和6年	職員2名退職、職員3名採用(内1名女性) 職員1名出向(役場:防災安全課) 職員1名派遣(福井県防災安全部消防保安課) 再任用職員 1名採用 総員40名 機能別消防団(消防経験団員)任用 第52回 全国消防救助技術大会出場(はしご登はんの部):千葉県 本部車両 水槽付消防ポンプ車1台 更新(永平寺4) 消防団防災学習・災害活動車両 1台 寄贈 公益財団法人日本消防協会 非常備消防 無償貸付 救助資機材・小型ポンプ搭載積載車 1台(松岡東分団) 能登半島豪雨に伴い、緊急消防援助隊として救急隊を派遣   
令和7年	職員2名退職、職員1名採用 職員2名出向(役場:防災安全課)総員 40 名

◆ 総 務 編

消防機関の組織・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3
令和7年度消防費予算額の内訳・・・・・・・・	1 3
消防費の町一般会計に占める割合・・・・・・・・	1 3
消防職員の定員と現員・・・・・・・・・・・・・・・・	1 4
消防職員の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1 4
消防職員の年齢別構成・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5
消防職員の勤続年数状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5
消防吏員の教育実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1 6
消防吏員の各種資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1 7
消防団員報酬及び手当の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1 8
消防団員配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1 8
消防団員年齢別・階級別構成・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9
分団別消防団員勤続年数状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9
消防相互応援協定の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	2 0

消防職員の定員と現員

階級 区分	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 〔その他 の職員〕	計
定 員	44						1	45
現 員	1	6	10	7	5	10	1	40

職員の配置状況

階級 区分		消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 〔その他 の職員〕	計
消 防 本 部 ・ 署	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
	署 長		1※						1※
	副 署 長								
	消防総務課		1	2	1		1	1	6
	予 防 課		2	2	3	3			10
	消 防 課		1	6	3	2	8		20
	情報管制室			1※	1※	1※			3※
	町部局出向		1				1		2
	県 派 遣								
	航空隊派遣								
計		1	6	10	7	5	10	1	40

※ は兼務

消防職員年齢別構成

階級 年齢	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 〔その他 の職員〕	計
員 数	1	6	10	7	5	10	1	40
18 ～ 24						7		7
25 ～ 29					3	3		6
30 ～ 34				2	2			4
35 ～ 39				5				5
40 ～ 44			1					1
45 ～ 49		1	6					7
50 ～ 54		4	3					7
55 ～	1	1					1	3
平均年齢	56.0	52.0	48.0	36.1	29.2	22.7		37.8

消防職員勤続年数状況

階級 年数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 〔その他 の職員〕	計
5年未満						8	1	9
5 ～ 9					3	2		5
10 ～ 14				5	2			7
15 ～ 19				2				2
20 ～ 24			2					2
25 ～ 29		1	5					6
30年以上	1	5	3					9
員 数	1	6	10	7	5	10	1	40

消防吏員の教育実施状況

区 分 \ 年 度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	計	
消 防 大 学 校							2	2		1	1	1		1	1	1	10	
福井県消防学校	初 任 科				2	2	3	3	2	2	1		3	3	1	1	3	26
	幹部教育	初 級 幹 部 科		1		1		1		1								4
		中 級 幹 部 科	1		1		1		1		1		1		1			7
		上 級 幹 部 科	1		1	1	1			1						1		6
	専科教育	警 防 科			1		1		1				1		1			5
		特 殊 災 害 科		1		1		1								1		4
		予 防 査 察 科	1	1	1	1	1	1	1				1		1			9
		危 険 物 科	1		1				1				1		1			5
		火 災 調 査 科		1		1		1		1								4
		救 助 科			1				1	1	1		1		1	1		7
		救 急 科			2	2	3	3	2	2	1		1		3	1	3	23
		特別教育	水 難 救 助 科	1		1			1	1		1				1	1	
救命士	養 成 研 修 所			1		1			1	1	1		1				6	
	気管挿管病院実習	1					1	1		1	2						6	
各機関等による短期講習		33	66	29	25	51	77	47	70	77	52	20	39	58	45	68	757	
計		39	70	41	34	62	91	60	79	85	56	30	43	69	52	75	811	

消防吏員の各種資格取得状況

資格別		階級	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
自動車	普通自動車免許		1	6	10	7	5	10	39
	(内)								
	準中型								0
	中型						2	2	4
	大型		1	6	10	7	3	2	29
	大型特殊		1	3		1			5
危険物	乙種（2類）				1				1
	乙種（3類）				1				1
	乙種（4類）			3	4	4	3	3	17
	乙種（5類）				1				1
	乙種（6類）				1				1
	丙種				1			1	2
予防火検定	防火査察			1	3	2		1	7
	消防用設備等			2	1	1			4
	危険物			1	2	2		1	6
その他	救急救命士			3	4	3	2	3	15
	気管挿管認定者			3	4	2			9
	薬剤認定者			3	4	3	2	3	15
	JPTEC			2	5	7	4	4	22
	特殊無線技士		1	2		7	5	8	23
	特定化学物質等作業主任者講習			1	1				2
	潜水土		1	3	8	6	3	2	23
	小型船舶操縦士免許		1	1	5	4			11
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		1	4	1	2			8
	クレーン等運転技能講習(5トン未満)		1	5	8	5	2	1	22
	玉掛け技能講習		1	6	8	4	3	1	23
	伐木作業従事者		1	1	2	1			5
	ガス溶断技能講習		1	2	2	3	1	1	10
	高所作業者取扱講習		1	1	1				3
	車両系建設機械技能講習		1	1		1			3
	電気工事士							1	1

消防団員報酬及び手当の状況

種 別	区 分	支 給 単 位	金 額 (円)
報 酬	基 本 団 員	団 長	年 額 105,000
		副 団 長	// 78,000
		分 団 長	// 60,000
		副分団長	// 45,500
		班 長	// 37,000
		団 員	// 36,500
		指 導 員	// 15,000
	機 能 別 団 員	班 長	// 5,000
		団 員	// 4,000
	機関手当(大型1台につき)		// 10,000
	機関手当(小型1台につき)		// 7,000
出 動 報 酬	火 災 (災 害) 出 動		1回(4時間) 4,000
	警 戒、訓 練、整 備 等		// 2,400

消防団員配置状況

階級別 分団別		団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員	合 計
本部	本部員	1	2	1				4
	機能別団員					1	173	174
女性分団				1	1	1	14	17
上志比東分団				1	1	2	13	17
上志比西分団				1	1	1	10	13
志比北分団				1	1	4	13	19
志比中分団				1	1	4	19	25
志比南分団				1	1	4	16	22
松岡東分団				1	1	4	13	19
松岡中分団				1	1	3	10	15
松岡西分団				1	1	3	11	16
御陵分団				1	1	4	7	13
吉野分団				1	1	3	17	22
合 計		1	2	12	11	34	316	376
定 員		1	3	17	11	44	336	412

消防団員 年齢別・階級別構成

階級別 年齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員	合 計
員 数	1	2	12	11	34	316	376
18 ～ 24						21	21
25 ～ 29						19	19
30 ～ 34						15	15
35 ～ 39					1	20	21
40 ～ 44			1	2	2	33	38
45 ～ 49				2	13	41	56
50 ～ 54			4	3	10	47	64
55歳以上	1	2	7	4	8	120	142

平均年齢 50.08 歳

分団別消防団員勤続年数状況

分団別 勤続年数	本 部		女 性 分 団	上 志 比 東 分 団	上 志 比 西 分 団	志 比 北 分 団	志 比 中 分 団	志 比 南 分 団	松 岡 東 分 団	松 岡 中 分 団	松 岡 西 分 団	御 陵 分 団	吉 野 分 団	合 計
	本 部 員	機 能 別												
5年未満		150	4	6	3	1	3	1	1	6	3		2	180
5 ～ 9		13	7	2	2	6	5	9	5	3	2	1	2	57
10 ～ 14		7	6	5	2	3	6	6	5	3	5	4	8	60
15 ～ 19		2		4	3	3	8	1	5	1	1	5	4	37
20 ～ 24	1	1			1	3	2	2		1	3	2	5	21
25 ～ 29	1				2	2	1	3	2		1	1	1	14
30年以上	2	1				1			1	1	1			7
員 数	4	174	17	17	13	19	25	22	19	15	16	13	22	376

消防応援協定の状況

1 消防相互応援協定関係

協 定 名	協 定 先	締 結 年 月 日
福井県広域消防相互応援協定書	福井県下市町・消防組合	平成18年3月20日
福井県広域消防相互応援協定に関する覚書	福井市消防局	平成18年4月1日
福井県広域消防相互応援協定に関する覚書	嶺北消防組合	平成21年5月1日
中部縦貫自動車道永平寺大野道路における応援協定に関する覚書	勝山市消防本部	平成25年5月1日
令和6年能登半島地震における広域応援協定書	石川県奥能登広域圏事務組合 福井県下市町・消防組合	令和6年2月3日

2 北陸自動車道関係

協 定 名	協 定 先	締 結 年 月 日
高速自動車道北陸自動車道における消防相互応援協定に関する覚書	福井市消防局 嶺北消防組合	平成18年3月20日

3 福井県防災ヘリコプター関係

協 定 名	協 定 先	締 結 年 月 日
福井県防災ヘリコプター協定	福井県及び 福井県下市町・消防組合	平成9年4月1日

4 集団災害関係

協 定 名	協 定 先	締 結 年 月 日
集団災害救急救助事故応援協定	国立大学法人 福井大学医学部附属病院	平成19年11月26日

◆ 予 防 編

防火対象物数	2 1
建築同意状況	2 2
消防用設備等設置状況	2 3
防火管理の状況	2 4
危険物製造所等状況	2 5
危険物倍数別製造所等の数	2 5
危険物施設の許可、完成検査、タンク検査等の数	2 6
煙火消費許可申請の数	2 6
各種届出状況	2 6
中高層建築物一覧表	2 7
防火指導等状況	2 7

防火対象物数(150㎡以上)

令和7年1月1日現在

区 分		永 平 寺 町				計
		松岡地区	永平寺地区	上志比地区		
1	イ 劇場・映画館等					57
	ロ 公会堂・集会場	57	22	18	17	
2	イ キャバレー・ナイトクラブ ・カフェー					
	ロ 遊技場・ダンスホール					
	ハ 性風俗営業を営む店舗等					
	ニ カラオケボックス等					
3	イ 待合・料理店					11
	ロ 飲食店	11	1	10		
4	百貨店・マーケット・展示場	22	14	7	1	22
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	5	2	3		129
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	124	117	6	1	
6	イ 病院・診療所	10	8		2	35
	ロ 要介護者・重度障害者施設(通所施設除く)	8	6	1	1	
	ハ 通所・障害者支援施設(障害程度が軽いもの)	17	8	6	3	
	ニ 幼稚園 又は 特別支援学校					
7	小・中・高・各種学校	16	11	3	2	16
8	図書館・博物館	3	1	1	1	3
9	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場 ・熱気浴場等	1			1	1
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場					
10	車両の停車場					
11	神社・寺院・教会	27	11	8	8	27
12	イ 工場又は作業場	139	45	61	33	139
	ロ 映画又はテレビスタジオ					
13	自動車車庫又は駐車場	6	1	3	2	6
14	倉庫	76	24	44	8	76
15	前各項に該当しない事業場	77	34	23	20	77
16	イ 特定防火対象物の存する複合 防火対象物	71	31	32	8	122
	ロ イ以外の複合防火対象物	51	20	27	4	
17	重要文化財等建造物					
計		721	356	253	112	721

建築同意状況

区 分		新築	増改築	その他	小 計	計
1	イ 劇場・映画館等					
	ロ 公会堂・集会場					
2	イ キャバレー・ナイトクラブ ・カフェー					
	ロ 遊技場・ダンスホール					
	ハ 性風俗営業を営む店舗等					
	ニ カラオケボックス等					
3	イ 待合・料理店	1				5
	ロ 飲食店	4				
4	百貨店・マーケット・展示場					
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	3				9
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	6				
6	イ 病院・診療所					
	ロ 要介護者・重度障害者施設(通所施設除く)					
	ハ 通所・障害者支援施設(障害程度が軽いもの)					
	ニ 幼稚園又は特別支援学校					
7	小・中・高・各種学校	1				1
8	図書館・博物館					
9	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場 ・熱気浴場等					
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場					
10	車両の停車場					
11	神社・寺院・教会	1				1
12	イ 工場又は作業場					
	ロ 映画又はテレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫又は駐車場					
14	倉庫					
15	前各項に該当しない事業場	5				5
16	イ 特定防火対象物の存する 複合防火対象物	1				1
	ロ イ以外の複合防火対象物					
17	重要文化財等建造物					
その 他、別 表 外 対 象 物						
計		22	0	0	0	22

消 防 用 設 備 等 設 置 状 況

区 分		屋内 消火栓 設備	スプリン クラー 設備	屋外 消火栓 設備	動力消防 ポンプ 設備	自動火災 報知設備	火災通報 装置設備	非常警報 設備	避難器具	誘 導 灯
1	イ ロ	3				16		14	1	29
2	イ ロ ハ ニ									
3	イ ロ					3		3	1	9
4		1		1		14		7		20
5	イ ロ	1				36	1	1	29	3
6	イ ロ ハ ニ	4	9			25	11	3	3	35
7		12			1	15		3	10	
8						2		1		1
9	イ ロ					1				1
10										
11						4		9		3
12	イ ロ	13		4	3	51				14
13	イ ロ									
14		8		2	1	27			1	15
15		4				15			3	19
16	イ ロ	8	1	1		33	1	11	9	44
17										
18										
計		54	10	8	5	242	13	52	57	193

防火管理の状況

区 分			法第8条 該 当 対象物数	防火管理者 届出済 対象物数	消防計画 届出済 対象物数
1	イ ロ	劇場、映画館、観覧場 公会堂又は集会場	57	17	12
2	イ ロ ハ ニ	キャバレー、ナイトクラブ等 遊技場又はダンスホール 性風俗営業を営む店舗等 カラオケボックス等			
3	イ ロ	待合、料理店等 飲食店	10	7	5
4		百貨店、マーケット等	22	14	14
5	イ ロ	旅館、ホテル又は宿泊所 寄宿舎、下宿又は共同住宅	10	9	8
6	イ ロ ハ ニ	病院、診療所等 要介護者・重度障害者施設(通所施設除く) 通所・障害者支援施設(障害程度が軽いもの) 幼稚園又は特別支援学校	22	20	20
7		小学校、中学校、高等学校等	17	16	16
8		図書館、美術館	2	2	2
9	イ ロ	蒸気浴場、熱気浴場等 イ以外の公衆浴場	1	1	1
10		車両の停車場等			
11		神社、寺院、教会等	12	12	12
12	イ ロ	工場又は作業場 テレビスタジオ等	6	6	6
13	イ ロ	自動車車庫又は駐車場 飛行機等の格納庫			
14		倉庫			
15		前各項に該当しない事業場	15	15	15
16	イ ロ	特定複合用途防火対象物 イ以外の複合用途防火対象物	35	29	29
17		重要文化財等建造物			
18		延長50m以上のアーケード			
計			209	148	140

危険物製造所等状況

区分 地区別	貯 蔵 所						取 扱 所		小 計	事 業 所 数
	屋 内 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所 (自家用)	一 般 取 扱 所		
永 平 寺 町	5	2	18	13		3	6 (3)	11	58	34
松岡地区	4		9	9		1	5 (3)	4	32	18
永平寺地区	1	2	7	4		1	1	6	22	12
上志比地区			2			1		1	4	4

危険物倍数別製造所等の数

区分 指定数量の 倍 数	貯 蔵 所						取 扱 所		計
	屋 内 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所 (自家用)	一 般 取 扱 所	
5倍以下	3	1	9	12		2		5	32
5倍を超え～10倍以下			5	1		1	1 (1)	4	12
10倍を超え～50倍以下	2	1	4				1 (1)	2	10
50倍を超え～100倍以下							1		1
100倍を超え～150倍以下							1 (1)		1
150倍を超え～200倍以下							1		1
200倍を超えるもの							1		1
計	5	2	18	13		3	6 (3)	11	58

危険物施設の許可、完成検査、タンク検査等の数

(令和6年度)

区 分	件 数	手 数 料 (千 円)
設 置 許 可 申 請	2	46
変 更 許 可 申 請	1	19.5
完 成 検 査	2	19.75
水 張 (圧) 検 査		
仮 使 用		
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		
計	5	85.25

煙火消費許可申請

(令和6年度)

区 分	件 数	手 数 料 (千 円)
煙 火 消 費 許 可 申 請	1	7.9

各種届出状況

(令和6年度)

用 途 別	届 出 数
消防計画作成(変更)届出	66
消防用設備等点検結果報告届出	348
防火対象物使用開始(変更)届出	32
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給油湯沸設備・乾燥機 サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備 放電加工機設置届出	5
発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出	5
ネオン管灯設備設置届出	
水素ガスを充てんする気球の設置届出	
火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある 行為等の届出	16
煙火打上げ・仕掛け花火届出	17
催物開催届出	22
水道又は用排水路の断水・減水届出	
道路工事届出	211
消防活動上支障ある行為等の届出	66
指定洞道等届出(新規・変更)	
少量危険物、指定可燃物貯蔵取扱い届出	4
圧縮アセチレンガス等の貯蔵等の届出	7
液化石油ガス設備工事届出	2
計	801

中高層建築物一覽表

地区別 階 別 用途別	永 平 寺 町								計
	松岡地区				永平寺地区			上志比地区	
	3階	4階	5階以上	7階以上	3階	4階	5階以上	3階	
集 会 場	1	1						1	3
飲 食 店					1				1
店 舗									0
旅 館	1				1				2
共 同 住 宅	31	12	6	2	1				52
病 院				1					1
福 祉 施 設		2							2
学 校	3		1	1	3			2	10
寺 院									0
工 場・作 業 所	4								4
倉 庫	2					1			3
事 務 所	7				2		1		10
複 合 用 途 防 火 対 象 物	16				8	1	1	2	28
計	65	15	7	4	16	2	2	5	116

防火指導等状況

(令和6年度)

種 別	回 数	対 象 者 数・件
消 防 訓 練 指 導 (普通救命講習会)	13	293 名
// (救 急 講 習 会)	17	437 名
// (消火・避難訓練)	113	4249 名
査 察・検 査 等 (防 火 対 象 物)		122 件
// (危 険 物 施 設)		43 件
// (危 険 物 車 両 等)		13 件

◆ 警 防 編

消防力の現有数	2 8
現有消防力の指数	2 8
消防車両の状況	2 9
消防機械配置状況	3 0
地区別水利状況	3 0
通信施設の状況	3 0
無線設備機設置状況	3 1
救急資器材の配置状況	3 2
消防資器材・救助資機材の配置状況	3 3

消防力の現有数

区 分		現 有
消防本部・署	消 防 署	1
	消 防 吏 員	39
	消 防 ポ ン プ 車	3
	救 急 自 動 車	3
	救 助 工 作 車	1
	指 揮 車	2
	広 報 車	1
	災 害 救 援 車	1
	資 機 材 運 搬 車	2
	小 型 動 力 ポ ン プ D 1 級	2
消防団	消 防 団 員	376
	消 防 ポ ン プ 車	10
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 き 積 載 車	10
	防 災 学 習 ・ 災 害 活 動 車	2
水利	消 火 栓	1117
	防 火 水 槽	256
	防 火 水 槽 (飲 料 水 兼 用)	4

現有消防力の指数

種別 区分	常 備	非 常 備
	消 防 職 員 1 人 当 た り	消 防 団 員 1 人 当 た り
面 積(Km ²)	2.4	0.25
人 口(人)	450	47
世帯数(世帯)	170	18

消防車両の状況

所属	種 別	年 式	メ ー カ ー ・ 型 式	級 別 ・ 性 能	車 両 名
消 防 本 部 ・ 署	指 揮 車	H23	ミツビシ DBA-V93W		永平寺指揮1号車
	指 揮 車	H31	トヨタ CBF-TRH226K		永平寺指揮2号車
	防 災 広 報 車	H16	スバル UA-BP5		永平寺広報1号車
	高 規 格 救 急 車	R4	トヨタ 3BF-TRH226S		永平寺救急1号車
	高 規 格 救 急 車	R5	トヨタ 3BF-TRH226S		永平寺救急3号車
	高 規 格 救 急 車	H22	トヨタ CBF-TRH226S		永平寺救急2号車
	水 槽 付 ポ ン プ 車	H29	トヨタ TKG-XZU685	モリタ A-2 CAFS装置付	永平寺1号車
	水 槽 付 ポ ン プ 車	H21	ヒ ノ BDG-GX7JGWA	水1-B型CAFS装置付	永平寺2号車
	水 槽 付 ポ ン プ 車	R7	ヒ ノ U-FD3HEAA改	モリタ A-2	永平寺4号車
	資 材 運 搬 車	H19	ミツビシ PDG-FD70B		永平寺3号車
	資 材 運 搬 車	H28	ダイハツ EBD-S331V		資機材搬送車
	救 助 工 作 車	R1	ヒ ノ 2KG-GX2ABA	R-II型	永平寺救助1号車
	災 害 救 援 車	H13	ヒ ノ KK-HZB50M	29人乗り	災害救援車
消 防 団	防 災 学 習 車	R7	スズキ 5BD-DA17V	悪路走行車	永平寺査察1号車
	防 災 学 習 車	R5	ニッサン 3BA-KS6E26	10人乗り	永平寺防災学習車Ⅱ
	連 絡 車	H6	ダイハツ V-S110W改		連絡車
	ポ ン プ 車	H11	トヨタ KC-HZJ75	モリタ A-2	上志比東ポンプ車
	積 載 車	H27	トヨタ LDF-KDY2B1	シバウラ B-3	上志比東積載車
	ポ ン プ 車	R4	いすゞ 2PG-NMS88AN	日機 A-2	上志比西ポンプ車
	積 載 車	H1	トヨタ L-YH81改	トーハツ B2	上志比西積載車
	ポ ン プ 車	H24	トヨタ TKG-XZU685	日機 A-2	志比北ポンプ車
	積 載 車	H7	トヨタ KC-LY151改	シバウラ B3	志比北積載車
	ポ ン プ 車	H25	トヨタ TKG-XZU685	日機 A-1	志比中ポンプ車
	積 載 車	H4	トヨタ U-LH85改	シバウラ B3	志比中積載車
	ポ ン プ 車	H31	トヨタ TKG-XZU685	日機 A-2	志比南ポンプ車
	積 載 車	R6	ダイハツ 3BD-S710W	トーハツ B2	志比南積載車
	ポ ン プ 車	R2	いすゞ 2PG-NMS88AN	モリタ A-2	松岡東ポンプ車
	積 載 車	R7	いすゞ 2RG-NHS88AN	トーハツ B2	松岡東積載車
	ポ ン プ 車	H29	トヨタ TKG-XZU685	ナカムラ消防科学 A-2	松岡中ポンプ車
	ポ ン プ 車	H27	いすゞ TKG-NMS85AN	モリタ A-2	松岡西ポンプ車
	積 載 車	H3	トヨタ U-LH85改	トーハツ B2	松岡西積載車
	ポ ン プ 車	H20	ヒ ノ BDG-XZU378M改	日機 A-2	御陵ポンプ車
	多 機 能 車	H21	いすゞ BKG-NHS85A	トーハツ B2	御陵積載車
	ポ ン プ 車	H28	トヨタ TKG-XZU685	モリタ A-2	吉野ポンプ車
	積 載 車	R5	ダイハツ 3BD-S710W	トーハツ B2	吉野積載車
	積 載 車	H3	トヨタ U-LH85改	トーハツ B3	機能別積載車

消防機器配置状況

区分 車両名		本部・署	消 防 団			合 計
			松岡地区	永平寺地区	上志比地区	
消 防 ポンプ自動車			5	3	2	10
水槽付消防ポンプ自動車		3				3
救 助 工 作 車		1				1
救 急 自 動 車		3				3
指 揮 車		2				2
小型動力 ポンプ	D-1級	2				2
	C-1級					0
	B-3級		1	2	1	4
	B-2級		4	1	1	6
積 載 車			5	3	2	10
資 材 運 搬 車		2				2
災 害 救 援 車		1				1
防 災 学 習 車				2		2

地区別水利状況

区分 地区別		消 火 栓	防 火 水 槽	
			40m ² 以上	飲料水兼用
松 岡 地 区		472	109	2
永 平 寺 地 区		457	95	2
上 志 比 地 区		188	53	0
合 計		1117	257	4

通信施設の状況

区分 配置先		無線設備						有線設備						その他				
		基地局	移動局			受令機			緊急通報専用回線	一般回線	FAX回線	メール119回線	災害情報自動案内	順次指令	NET119	情報NW	福井県防災	庁内放送設備
			車載型	携帯型	可搬型	卓上型	携帯型	車載型										
本部・署		3	12	13	2	2			13	6	1	1	1		1	1	1	1
消防団							8	10										
合計		3	12	13	2	2	8	10	13	6	1	1	1		1	1	1	1

無線設備機設置状況

名 称	識 別 信 号	出力 (W)	局 種 別	設 置 場 所 (積 載 車 両)
永 平 寺 本 部	えいへいじほんぶ	10W	基 地	消 防 本 部
永 平 寺 役 場	えいへいじやくば	5W	//	永 平 寺 役 場
永 平 寺 5 分 団 車 庫	えいへいじ5ぶんだんしゃこ	2W	//	志比南分団車庫
永 平 寺 指 揮 1	えいへいじしき1	5W	陸上移動	指 揮 車
永 平 寺 指 揮 2	えいへいじしき2	5W	//	//
永 平 寺 救 急 1	えいへいじきゅうきゅう1	5W	//	救 急 車
永 平 寺 救 急 2	えいへいじきゅうきゅう2	5W	//	//
永 平 寺 救 急 3	えいへいじきゅうきゅう3	5W	//	//
永 平 寺 1	えいへいじ1	5W	//	水槽付ポンプ自動車
永 平 寺 2	えいへいじ2	5W	//	水槽付ポンプ自動車
永 平 寺 3	えいへいじ3	5W	//	資 材 運 搬 車
永 平 寺 4	えいへいじ4	5W	//	水槽付ポンプ自動車
永 平 寺 救 助 1	えいへいじきゅうじょ1	5W	//	救 助 工 作 車
永 平 寺 広 報 1	えいへいじこうほう1	5W	//	防 災 広 報 車
永 平 寺 査 察 1	えいへいじささつ1	5W	//	査 察 車
永 平 寺 可 搬 1	えいへいじかはん1	5W	//	可 搬 型
永 平 寺 可 搬 2	えいへいじかはん2	5W	//	//
永 平 寺 1 0 1	えいへいじ101	2W	//	携 帯 型
永 平 寺 1 0 2	えいへいじ102	2W	//	//
永 平 寺 1 0 3	えいへいじ103	2W	//	//
永 平 寺 1 0 4	えいへいじ104	2W	//	//
永 平 寺 1 0 5	えいへいじ105	2W	//	//
永 平 寺 1 0 6	えいへいじ106	2W	//	//
永 平 寺 1 0 7	えいへいじ107	2W	//	//
永 平 寺 1 0 8	えいへいじ108	2W	//	//
永 平 寺 1 0 9	えいへいじ109	2W	//	//
永 平 寺 1 1 0	えいへいじ110	2W	//	//
永 平 寺 1 1 1	えいへいじ111	2W	//	//
永 平 寺 1 1 2	えいへいじ112	2W	//	//
永 平 寺 1 1 3	えいへいじ113	2W	//	//

救急資器材の配置状況

区 分		本部・署
観 察	電 子 聴 診 器	0
	自 動 血 圧 計	3
	手 動 血 圧 計	3
	パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	6
	患 者 監 視 装 置	3
	血 糖 測 定 器	2
	耳 体 温 計	3
	非 接 触 型 体 温 計	2
呼 吸 ・ 循 環 管 理	自 動 式 人 工 呼 吸 器	3
	手 動 式 人 工 呼 吸 器	3
	心 肺 蘇 生 用 背 板	2
	電 動 式 吸 引 器	3
	酸 素 ボ ン ベ (1 0 . 0 ℓ)	12
	酸 素 ボ ン ベ (2 . 0 ℓ)	12
	自 動 体 外 式 除 細 動 器	4
	喉 頭 鏡	4
	マ ギ ー ル 鉗 子	6
	シ ョ ッ ク パ ン ツ	1
	C O 2 モ ニ タ ー	2
	ビ デ オ 喉 頭 鏡	2
固 定 保 護	自 動 心 臓 マ ッ サ ー ジ 器	2
	ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	5
	陰 圧 式 固 定 用 具 一 式	1
	バ ッ ク ボ ー ド 一 式	4
搬 送	シ ョ ー ト ボ ー ド	4
	メ イ ン ス ト レ ッ チ ャ ー	3
	コ ン ビ ネ ー シ ョ ン ス ト レ ッ チ ャ ー	3
	布 担 架	2
	エ バ ッ ク チ ェ ア	1
消 毒	バ リ ラ イ ト マ ッ ト	6
	CT 測 定 器 内 臓 オ ゾ ン ガ ス 発 生 装 置	1
	水 冷 式 オ ゾ ン 水 生 成 装 置	1
訓 練	オ ゾ ン ク リ ー ナ ー	
	A E D ト レ ー ナ ー	20
	心 肺 蘇 生 訓 練 人 形 (乳 幼 児 用)	9
	心 肺 蘇 生 訓 練 人 形 (成 人 用)	29
そ の 他	気 管 挿 管 訓 練 人 形	1
	リ ン グ カ ッ タ ー	1
	軽 微 救 助 資 器 材 セ ッ ト	3

消防資機材・救助資機材の配置状況

資 機 材 名	本部・署
二 連 梯 子	1
三 連 梯 子	5
油 処 理 剤 1 8 ℓ 缶	7
泡 消 火 薬 剤 2 0 ℓ 缶	34
メガホン（サイレン音付）	8
携 帯 無 線 機	13
携 帯 警 報 器	17
低 発 泡 ノ ズ ル	4
フォグガン・プロジェットガン	6
無 反 動 ノ ズ ル	3
放 水 銃	2
ド レ ン ジ ャ ー ホ ー ス	5
ジ ェ ッ ト シ ュ ー タ ー	29
空 気 呼 吸 器	38
空 気 ボ ン ベ （ F R P ）	61
空 気 ボ ン ベ （ 鋼 ）	18
耐電ヘルメット・手袋・長靴	5
パーティカルストレッチャー	2
バスケットストレッチャー	2
ポータブルCAFS（武蔵）	1
ガ ス 溶 断 機	1
ホ リ ガ ン ツ ー ル	2
エ ア ソ ー （ 空 気 鋸 ）	1
チ ェ ー ン ソ ー	2
レ シ プ ロ ソ ー	1
エ ア カ ッ タ ー	1
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	3
ハ ン マ ー ド リ ル	1
油 圧 カ ッ タ ー	1
油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	1
ラ ム シ リ ン ダ ー	1
ス タ ブ フ ァ ス ト	2
マット型空気ジャッキ	1
空 気 式 救 助 マ ッ ト	1
送 排 風 機	1
レ ス キ ュ ー シ ョ ッ ト	1
救 命 胴 衣	23
救 命 ボ ー ト （ ゴ ム 製 ）	2
水 中 投 光 器	2
潜 水 器 具 一 式	6
ウ ェ ッ ト ス ー ツ	9
ド ラ イ ス ー ツ	9
防 毒 マ ス ク	20
空 気 充 填 機	1
発 電 機	8
エ ア ー テ ン ト	2
エ ア ー フ ロ ア ー	8
陽 圧 化 学 防 護 服	4
冷 却 ベ ス ト	33
複 合 ガ ス 検 知 器	1
検 知 管 式 ガ ス 検 知 器	2
除 染 シャワーテント 一式	1

◆ 関 係 団 体

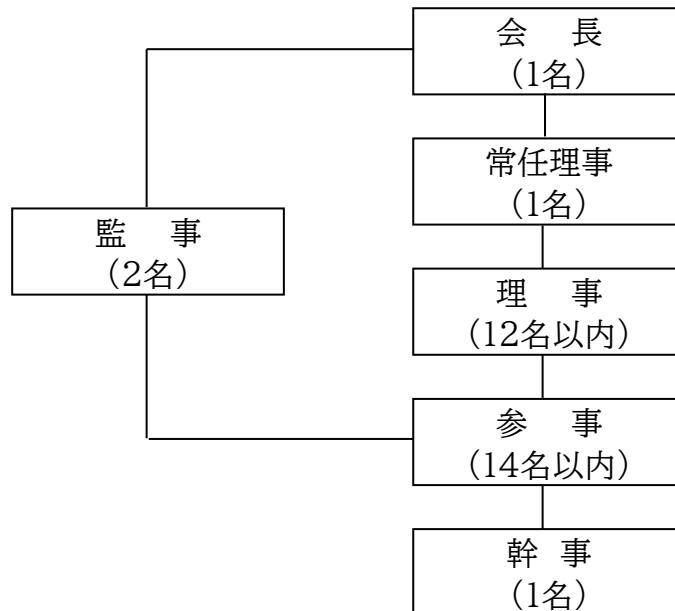
永平寺町消防協会・・・・・・・・・・・・・・・・	34
永平寺町防火協会・・・・・・・・・・・・・・・・	35
永平寺町幼少年婦人防火推進委員会・・・・・・・・	36
永平寺町女性防火クラブ・・・・・・・・・・・・	37
永平寺町少年消防クラブ・・・・・・・・・・・・	38
永平寺町幼年消防クラブ・・・・・・・・・・・・	39

永平寺町消防協会

【本会の設立主旨】

平成18年2月13日に永平寺町消防協会が発足されたことに伴い、永平寺町内の防火思想の普及啓発に努めるとともに、消防職団員の教養訓練及び福利厚生、消防施設の整備改善、消防活動等の強化充実を図ることを目的としている。

【組 織】



【主な活動】

- 防火思想の普及啓発
- 消防職団員の福利厚生事業
- 消防施設等の強化拡充
- その他協会の目的を達成するための事業
- 消防職団員の教養・教育
- 消防職団員及び消防功労者の表彰
- 消防団活動の強化推進事業

【事 務 局】

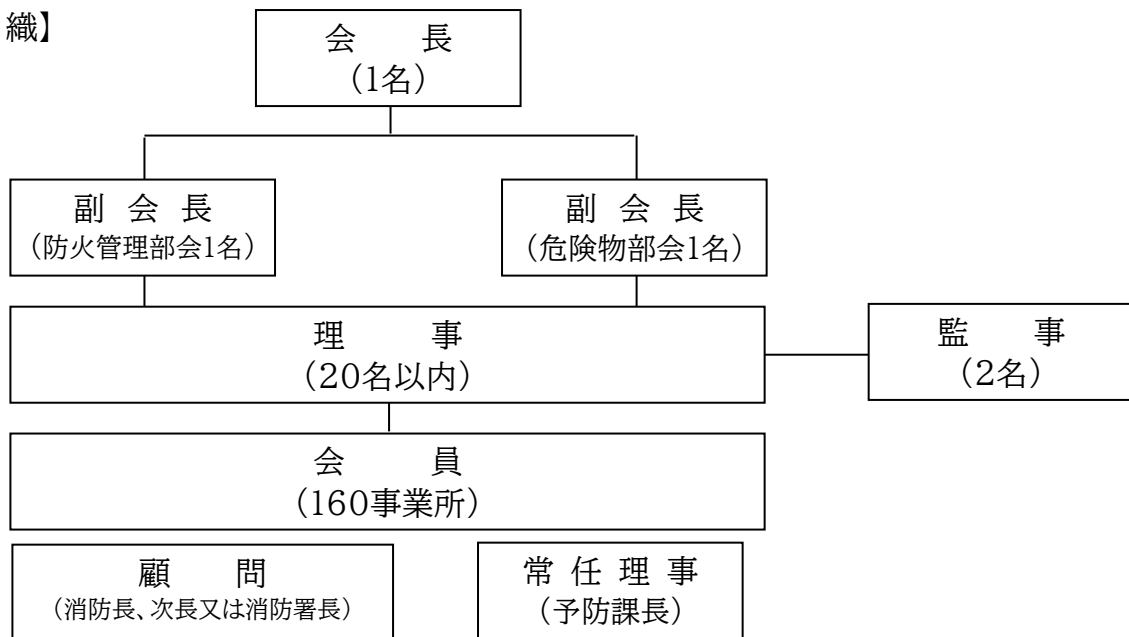
消防本部消防課内

永平寺町防火協会

【本会の設立趣旨】

昭和46年4月、危険物・LPG販売取扱い業者相互の技術の向上並びに災害の予防研究等を目的に吉田地区危険物安全協会として設立され、幾多の変遷を経て平成8年4月危険物安全協会と防火管理者会が統合され新たに吉田地区防火協会となり、平成18年4月には永平寺町防火協会として新たに設立され、組織の充実と事業の拡大を図り地域住民の防火思想の普及、広報と福祉の増進に寄与することを目的に現在に至っております。

【組 織】



【区 域】

永平寺町の全域がその活動区域です。

【会 員】

永平寺町において防火管理者を有する防火対象物及び防火対象物の危険物施設並びに液化石油ガス販売施設の事業主、所有者、管理者、占有者、関係者等

【年間予算】

(単位:円)

区 分	会 費	諸 収 入	繰 越 金	合 計
令和7年度 予 算	461,000	683	192,317	654,000

【主な活動】

- 会員相互間の連絡調整、情報交換
- 防火管理体制、危険物保安管理体制の確保の普及啓発に関する事項
- 防災広報の支援活動に関する事項
- 永平寺町幼少年婦人防火推進委員会の支援活動に関する事項

【事 務 局】

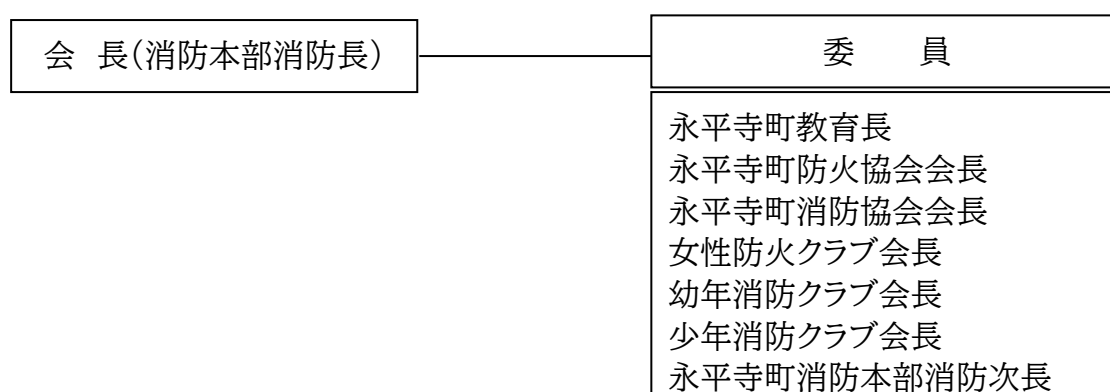
消防本部予防課内

永平寺町幼少年女性防火推進委員会

【本会の設立趣旨】

この委員会は永平寺町内に設置された幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火クラブの組織の拡大強化ならびに活動の助成を図り、もって地域住民の防火思想の高揚及び家庭を中心とした地域社会全般にわたる防火防災体制の一層の充実を図ることを目的として、昭和59年9月1日に吉田地区幼少年婦人防火推進委員会が設立、平成18年4月に永平寺町幼少年婦人防火推進委員会として新たに設立されました。

【組 織】



【主な活動】

- 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火クラブの組織拡大強化
- 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火クラブの育成、指導
- 防火思想の啓蒙
- その他委員会の目的達成に必要な事項

【クラブ結成状況】

幼年消防クラブ	少年消防クラブ	女性防火クラブ
クラブ数	クラブ数	クラブ数
8	8	1

【事 務 局】

消防本部予防課内

永平寺町女性防火クラブ

【クラブの設立趣旨】

永平寺町に居住する女性で自らの危機管理能力を高めるとともに、ボランティアで家庭や地域における防火・防災活動を実践し、災害のない町づくりに貢献することを目的で平成25年4月に永平寺町婦人防火クラブから永平寺町女性防火クラブとして新たに結成されました。

【主な活動】

- 家庭における火災予防と防火知識の習得
- 火災予防についての研修
- 火災予防に対する協力
- その他目的達成のため必要と認める事項の推進

【事務局】

消防本部予防課内

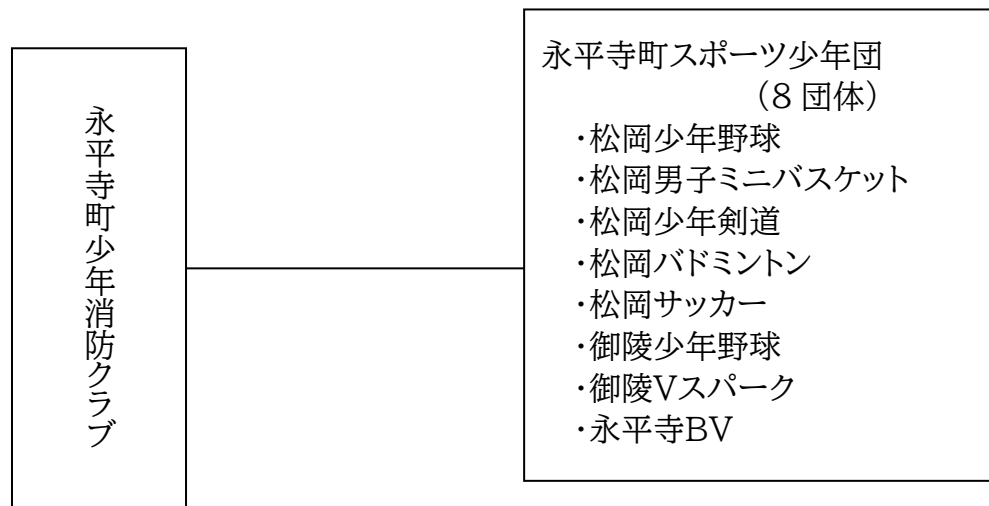
永平寺町少年消防クラブ(BFC)

【クラブの設立趣旨】

永平寺町内の少年達に、火災予防の普及徹底及び一般的防火思想の向上を図り相互の親和と協同の精神を養い併せて火災予防を研究し実践することを目的として昭和57年6月に吉田地区連合少年消防クラブとして結成、平成18年4月に永平寺町連合少年消防クラブとして新たに結成されましたが、平成23年4月からはさらに組織拡大をはかり新体制となりました。

BFCとは、Boys and Girls Fire Club の頭文字を取ったものです。

【組 織】



【主な活動】

- 火災予防に対する研究、実践
- 火災予防の広報(防火ポスターコンクール等)
- 防災活動や消防についての理解促進の為の知識・技術を広く伝え、将来の地域防災を担う人材育成(地域防災スクール)
- その他必要な事項

【事 務 局】

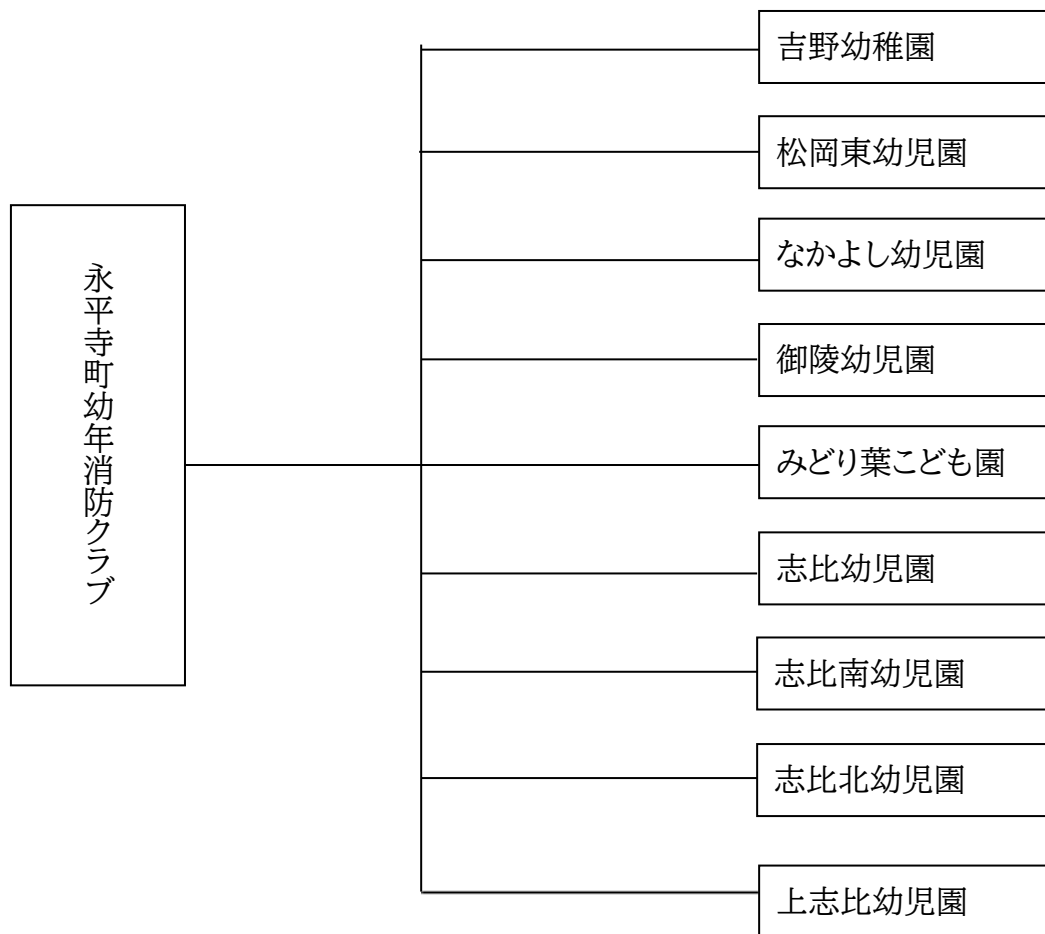
消防本部予防課内

永平寺町幼年消防クラブ

【クラブの設立趣旨】

幼年達に正しい火の取扱い等初歩的な知識を養い消防の仕事を理解させることにより、火遊び等による火災を防止し、もって防火思想の向上を図ることを目的とし、昭和57年10月に吉田地区連合幼年消防クラブが結成、平成18年4月に永平寺町幼年消防クラブとして新たに結成されました。

【組 織】



【主な活動】

- 火災予防の広報(ちびっこ防火まつり等)
- 火に対する正しい知識と恐ろしさを知る催し物の開催(節分行事等)
- 避難の要領等の習得
- 消防署の見学
- その他必要な事項

【事務局】

消防本部予防課内

消 防 職 員 七 指 標

1. 旺 盛 な 使 命 感
2. 厳 正 な 規 律
3. 強 固 な チ ー ム ワ ー ク
4. 質 実 剛 健 の 気 風
5. 多様な専門知識と柔軟な思考力
6. 創 意 と 工 夫
7. 強い体力と旺盛な気力

永 平 寺 町



永平寺町消防本部
町民の生命と財産を守る

令和7年版消防年報

令和7年6月

発行 福井県吉田郡永平寺町東古市第10号5番地

永平寺町消防本部・消防署

TEL (0776) 63-0119

FAX (0776) 63-0168

MAIL 【shobo@town.eiheiji.lg.jp】

HP アドレス【<http://www.town.eiheiji.lg.jp/>】